デリジェイ
Deli-J
いつものぐんまにちょっとプラス＋
11月号
2023.10.25
Vol.269

Bizarre Plants
珍奇植物を育てよう
個性的で不思議な世界

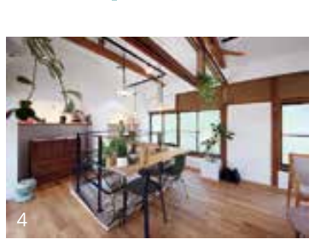
道の駅・直売所
○○な秋
介護・福祉
忘新年会

［三ツ星美食デリシュラン］洋菓子ルイドール
［Deli-J調査団］佐久発電所のサージタンク
［私のセカンドライフ］木暮久司さん（安中市）

-table of contents-

■表紙「モーニングサービス」
■巻頭特集「珍奇植物を育てよう」
■デリシュラン「洋菓子ルイドール」
■私のセカンドライフ「木暮久司さん（安中市）」
■ Deli-J 調査団「佐久発電所のサージタンク」
■読者プレゼント

1.美容室の雰囲気を残しつつ、洗練された空間にリノベーション。気軽に入店できる　2.栽培する「ハオルチア」を愛でる泰子さん　3.路地に面した店。あえて残した美容室の看板が良い雰囲気　4.2階にはくつろげるスペースがある。ゆっくりコーヒーを味わって　5.ドリンクのテイクアウトも可　6.人気の「アガベ」や塊根植物の「アデニウム」など、多種が並ぶ



4

2

5

3

実生のオベサもかわいい

6

日本の植物にはない姿形が珍奇植物の魅力です。手にしている「ユーフォルビア・ホワイトゴースト」はインド原産。オバケが手を広げているようなユニークな姿をしています。

PLANTS＆COFFEE ね
手島泰子さん

Bizarre Plants
珍奇植物を育てよう
個性的で不思議な世界

個性的な姿と生態が魅力の「珍奇植物」。
「ビザールプランツ」とも呼ばれ注目されています。
手にするとなぜか引き込まれてしまう
不思議な世界を育ててみませんか。

ふらりと立ち寄れるカフェで出合う

PLANTS & COFFEE ね

インテリアに取り入れやすい植物が並ぶ

旧三国街道の宿場町として栄えた湯宿温泉。細い路地には石畳が敷かれ湯煙が立ち昇る。風情がある小さな温泉街に今年5月、「PLANTS＆COFFEE ね」が誕生した。都内から移住したデザイナーの手島拓実さんと建築士の泰子さん夫妻の店で、デザインオフィスを併設する。築60年の美容室だった建物の古い梁や壁などの構造を生かしてリノベーションし、1階は植物の展示販売、2階はくつろげるカフェスペースに。古き良き時代と現代が融合し、植物の緑色が映える空間はセンスにあふれている。

美容室の面影を残す1階に並ぶのは、約50種の植物。仕入れたものだけでなく泰子さんが種から育てた実生苗も販売する。ぷっくりとした葉がロゼット状に並んだ「エケベリア」や、トゲを伸ばしたワイルドな見た目の「アガベ」、茎や根が肥大化した塊根植物の「パキポディウム」など、人気が高いものがそろう。初心者が育てやすい品種も多く、大きさも手ごろ。植物が目的でなくても入店しやすく、展示の仕方もインテリアの参考になる。植物に囲まれたカウンターでドリンクをオーダーし、吹き抜けのある2階で過ごすのもいい。

店名の「ね」は植物の根だけでなく、「地域に根付く」という思いも込められている。また、「そうだね」など共感を表す終助詞「ね」も意味するという。気軽に立ち寄れて植物との出合いがあるのはもちろん、人との交流が生まれる場所は、小さな温泉街になくてはならない存在になりそうだ。

PLANTS＆COFFEE ね
住 みなかみ町湯宿温泉540　☎050-3574-7029
営 10：00～18：00　休 木曜

1.工夫されたディスプレイで、見ているだけで胸が躍る店内　2.トゲが見事な「パキポディウム・ラメリー」3.独特なフォルムを持つものも　4.鉢の色や形で植物の印象が変わる　5.さまざまなデザインの鉢がそろう　6.庭に置きたい大型の鉢植え。ドライガーデンに地植えもかっこいい

4

2

5

3

甲羅のような塊根の「亀甲竜」

6

失敗を恐れずに、自分が気に入ったものを育てるのが良いと思います。自生地を知り、その環境に合わせましょう。植物に似合う鉢を見つける楽しみも、ぜひ味わってください。

高崎松風園
店長　矢野剛さん

鉢との組み合わせや植栽まで楽しむ

高崎松風園

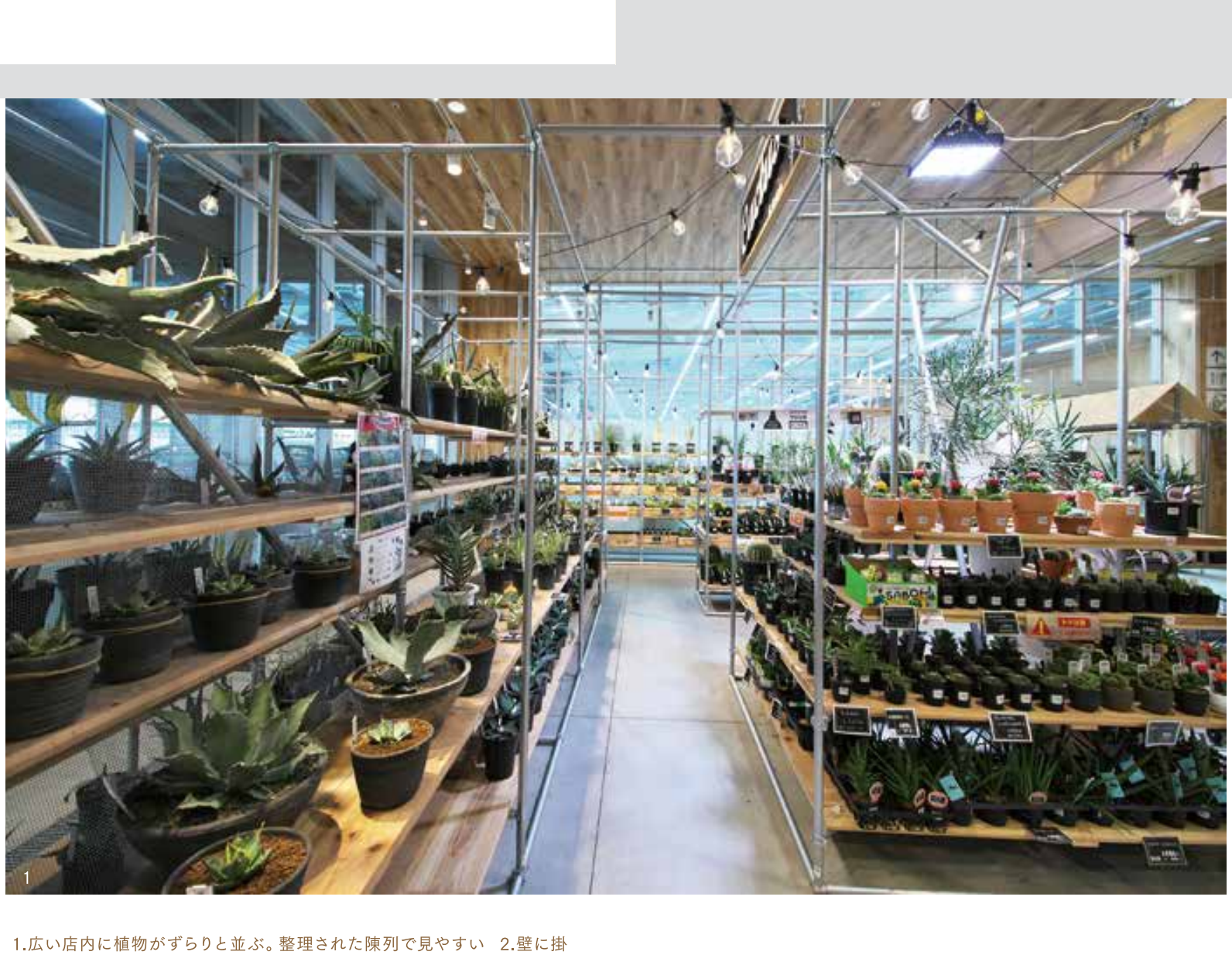
雑貨を選ぶ感覚で自分好みに仕上げる

群馬の森北入り口近くに店を構える「高崎松風園」。造園設計や施工などを数多く手掛ける、創業55年の企業だ。2019年にオープンした新店舗は、インテリアのポイントになるテーブルサイズからリビング用の存在感ある植物、花壇を彩る草花や植栽用樹木、ガーデンツールまでそろう。季節に合わせて軽飲食の提供や親子で楽しめる庭もあり、週末はファミリーを中心ににぎわう。ワークショップやマルシェも定期的に開催している。

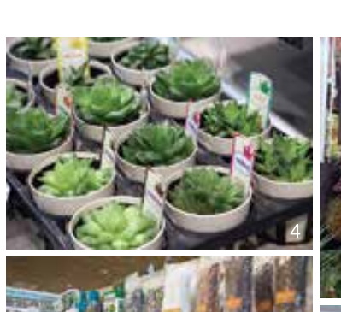
4つあるショップの一つ「TABLE PLANTS HOUSE」には、小ぶりな観葉植物や多肉植物とともに、珍奇植物が並ぶ。雑貨店のようなかわいらしい造りで、棚だけでなく天井から吊るされたものもあり、目移りしてしまう。小ぶりなものが多く、価格も数百円から高額なものでも1万円台と手ごろ。多種が混在したセットで仕入れることが多く、店頭に並ぶ品類に偏りがないため、数種類購入したい場合にもおすすめだ。また、壁面の棚には多種多様の鉢や鉢カバーが並ぶ。置く場所の雰囲気や好みのイメージを想像しながら選ぼう。鉢を替えることで植物の印象が大きく変わるため、自分好みに仕上げればさらに愛着がわく。

大型の「アガベ」や「ユッカ・ロストラータ」などを植栽したドライガーデンも人気で、依頼件数も増えているという。個人宅はもちろんオフィスの屋外緑化に用いれば、スタイリッシュな雰囲気を演出できる。大きな鉢のまま置くとより管理がしやすくなる。幅広い要望に対応しているので、気軽に相談してみては。

高崎松風園
住 高崎市八幡原町508-1　☎027-347-2818
営 9：30～17：30　休 火曜



1.広い店内に植物がずらりと並ぶ。整理された陳列で見やすい　2.壁に掛けられる板付けの「ビカクシダ」も種類豊富　3.塊根植物の中でも人気の大きな高額の「グラキリス」4.透明感のある葉が美しい「ハオルチア」も充実 5.土や肥料など必要なものが一式そろう



4

2

5

室内で光を補う育成ライト

3

幅広く人気がある「アガベ」は品揃えが充実しています。用途に合わせて選べるように、安価なものから高額品まで、サイズも小さいものから大きいものまで取り揃えています。

ジョイホン吉岡店
グリーン担当 和義栄太さん

テーマパークのような店内で探す

ジョイホン吉岡店

多種の植物も必要なグッズも全てそろう

今年４月にオープンした大型ホームセンター「ジョイホン吉岡店」。圧倒的な品ぞろえに定評がある同店は、珍奇植物の取り扱い数も一線を画す。また、どの植物も状態が良く、品種別に特性を熟知した管理が行き届いていることがうかがえる。

店頭には常時30～ 50品種ほどの珍奇植物が並ぶ。「アガベ」、「サボテン」、「ハオルチア」、「メセン」、「ビカクシダ」、「ユーフォルビア」などが充実し、量は多くないが「パキポディウム」、「アデニウム」、「ステファニア」などの塊根植物もある。「モンステラ黄色斑」などの珍しい植物も。問い合わせがあった品種を必ず手配できるわけではないが、随時各地の生産者に状況を確認するなど、来客者の声を大切にしているという。

初心者が育てやすい品種のおすすめは、丈夫で生命力が強い「ハオルチア」。成長が遅いため、こまめな管理が苦手な人にも育てやすい。人気を集めるアガベの中では、強健なトゲを持った姿がかっこいい「キャットウィールズ」がおすすめ。耐寒性が低いため冬は室内管理をしよう。植物の多くは夏もしくは冬に休眠期に入り管理が難しくなるので、生育期の春や秋に栽培を始めると良い。

用品や用具も充実している。育成ライトや風通しを良くするファン、ブレンドに適した用土や栄養剤なども豊富で、必要なものが一式そろう点も魅力的だ。テーマパークに遊びに来た感覚で、自分に合った植物を探してみよう。

ジョイホン吉岡店
住 吉岡町大久保364-1　☎0279-41-5588
営 9：00～20：00　休 無休（不定休あり）

1.大きさや種類もさまざまな「アガベ」2.長谷川さんが作ったオリジナル品種「エケベリア・白王」3.アンデス高山で育つ「プヤ・ライモンディ」4.珍奇植物がぎっしり並ぶ　5.生育に合わせ、日光浴をさせることも

ヒガンバナの仲間「ハエマンサス」

2

5

3

4

好きな植物を集めて栽培するのは、究極の自己満足。歴史や背景など、ストーリー性がある植物に興味があります。毎日植物と会話するように、心を通わせる時間が癒やしです。

日本多肉植物の会
北関東支部長　長谷川誠さん

県内外の愛好家と交流する

日本多肉植物の会

みんなで楽しく学びながら育てる

1965年創設の「NPO法人日本多肉植物の会（JSS）」。歴代の多肉植物愛好家が栽培した銘品や希少種を守り、普及活動や植物育成を通じて心の豊かさを創造することを目的としている。さらには、乾燥に強い緑化植物としての活用・研究等を通し、ヒートアイランド防止と地域緑化に貢献することを目指す。都内に事務局を構え、北東北、南東北、東京、北関東、南関東、甲信越に支部を持ち、会員数は約260人。年齢、職業、性別を問わず「みんなで楽しく植物を育て学んで行くこと」を大切に、栽培歴や知識などの制約はない。定期的に開催する例会やイベントで親睦を深め、栽培品や情報の普及交換の場は毎回大盛況だ。

群馬県内には世界に名を轟かせる植物学者や栽培家も多く、北関東支部例会には他支部から会員が駆けつけることも。同支部長の長谷川誠さんは栽培歴約30年のベテランだが、「まだまだ私なんて鼻たれ小僧ですよ」とおどける気さくな人柄に、大きな組織でありながら同会の門戸の広さがうかがえる。長谷川さんが栽培する植物は、花のような姿がかわいらしい「エケベリア」、個性的な塊根植物、人気上昇中の「アガベ」のほか、自身で交配させたオリジナル品種、現在ではワシントン条約により規制された希少なものまで多数。常に植物と向き合い、我が子のように世話をする姿は尊くもある。植物を愛する心があれば初心者も歓迎する同会での、得られる知識と交流は計り知れない。

NPO法人 日本多肉植物の会
住 東京都北区田端5-15-1（事務局）
☎03-3821-3101

1.倉林さんのビニールハウス。50年以上育てているサボテンもある（手前左）2.斑入りの「アガベ」は優しい印象　3.美しいハオルチアのオリジナル品種「源氏物語絵巻」4.倉林さんの本棚には貴重な文献も多数　5.「パキポディウム・グラキリス」も栽培

5

2

3

「ウチワサボテン」は和紙の原料に

4

年齢性別問わず、植物が好きな仲間で楽しく交流しています。顔を合わせることを大切にしているので、入会を希望する方は即売会やセリ会の際に直接声を掛けてください。

群馬カクタスクラブ
会長　倉林輝生さん

展示即売会や見学会に参加する

群馬カクタスクラブ

群馬県唯一のクラブ、来年創立70年

サボテンや多肉植物の愛好会「群馬カクタスクラブ」。1954年に発足し来年70周年を迎える。現在は中学生から82歳まで108人が所属し栽培歴は問わず、世界中のさまざまな植物を育成。互いに育成方法などを教え合うほか、県外の愛好家や業者を訪問、栽培場見学などで交流を深めている。年に数回行われる展示即売会には、会員が栽培した植物が並ぶ。質の良い珍しい品種が手ごろな価格で購入でき、遠方からも愛好家が駆けつける人気ぶりだ。同じ品種でも色や形、大きさなどが異なり、同じものには二度と出合えない。一期一会を大切に購入しよう。愛好家が増えている塊根植物は、初心者向きでもある。雨ざらしで良いものが多く、ベランダでも育つ。冬は室内で管理を。

栽培歴50年以上のベテランである、会長・倉林輝生さんの栽培場を特別に見せてもらった。サボテンを中心に多肉植物や塊根植物など珍しい品種も数多く、どれも生き生きと輝く。それぞれの特性を把握して最適な環境を保ち、長く育てることを大切にしているという。種子から十何年とかけて大きくしたものや、収集を始めた子どものころに買って今も育て続けている株もある。最近ではサボテンの実用性も追求。和紙をすく際には「ねり」と呼ばれるトロロアオイの粘液が不可欠だが、秋に収穫し腐敗を防ぐ保存が必要で、夏の高温時はねりが弱い。気温に関係なく通年使用でき、ねりの強いサボテンが代用に適していることがわかり製品化に成功した。未知なる可能性に新たな世界が広がる。

群馬カクタスクラブ
【第4日曜セリ会】
住 前橋市荒子町338-1　JA前橋市荒砥支所倉庫

三ツ星美食 デリシュラン ★★★

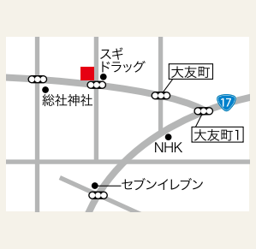
Vol.20 洋菓子 ルイドール

エクレア各種　400円

手持ちで気軽に食べられるスタイリッシュなスイーツ

カラフルにデコレーションされたエクレアの数々。この日用意してもらった、コーヒー香る「カフェ」、甘酸っぱい組み合わせの「苺と木苺」、濃厚なピスタチオクリームに木苺を掛け合わせた「ピスタチオ」などを含め、全9種類の味が楽しめる。食感よく固めに焼き上げた生地の中には、カスタードをベースにフルーツの酸味やチョコレートの風味を利かせたクリームがたっぷり。トッピングのナッツなどが食感に変化を加えている。フルーツや生クリームをあしらった季節限定のエクレアも人気だ。古典的なフランス菓子を大切にしながら、アレンジを加えたスイーツ中心の品ぞろえ。アレルギー対応のケーキも予約注文できる。

住 前橋市元総社町2-28-1
　T・Hパレロワイヤル101
電 027-255-5126
営 10:00～19:00（日祝～18:00）
休 月曜



01

02

03

01 銅製の型で焼くカヌレには、前橋市内でミツバチを育てる「まえばしハニープロジェクト」のミツロウを使用
02 白色や木を基調とした店内
03 店名はフランスの「ルイドール金貨」に由来。金貨のようにに輝きのあるお菓子を提供

＼私のオススメポイント／
頑張った自分への
ごほうびスイーツです。
手土産にも喜ばれます。

推薦者 Deli-J広告　又吉 航平
「日々勉強」の意識で、広告営業をはじめイベントの運営などに邁進中。最近の楽しみはおいしい「食」だが、つい食べ過ぎてしまうことも。

Deli-J Gourmet Selection

手打ちのようなうどんが出来上がる製麺機を使用し、慣れた手つきで生地を薄くのばしていく木暮さん

赤い文字のパッケージに包まれた太うどんと細うどん（いずれも1袋120円）。太うどんは小麦の香りと強いコシを、細うどんはのど越しともちっとした食感を味わって

＼人生を楽しもう！／ My Second Life

私のセカンドライフ

製麺所 経営
第8回　木暮 久司さん（65）安中市

大好きだったうどんの製法を継承
凝り性が高じて商売に

安中市郊外の田園地帯の一角に立つ小さな作業場を訪れると、製麺機からこだわりのうどんが生み出されていた。ここは木暮さんが5年前に開業した製麺工場だ。

木暮さんがうどんを打ち始めたのは約9年前。当時家族みんなが好きだったうどんの製麺所が廃業すると聞き、「このうどんが食べられなくなるのは嫌だ」と一念発起した。その製麺所に作り方を教えてもらいに行くと、意外にも快く教えてくれ、その後もうどんを打つ度に仕上がりを見てもらった。そして、JRを定年退職したら起業することを決意。退職から1年足らずの2018年1月には高崎市内のスーパーで販売を開始した。

うどんに使用するのは高級小麦粉と食塩のみ。手打ち麺と同等の50％加水した生地を、足踏みや包丁切りなどの機能を備えた製麺機にかけ、手でもみ込むことで自慢のちぢれ麺に。多加水麺はやわらかいためゆで時間は短めで良く、冷水で締めると抜群のコシともちっとした食感が楽しめる。

当初はスーパーでの試食販売が好評で、他店にも販路を広げた。しかし、コロナ禍で試食が出来なくなると一転、減少傾向に。現在は、販路を当初からお世話になっているスーパーと直売のみとし、太うどんと細うどんを毎日100袋ほど、冬はひもかわうどんも製造・販売している。

これからも元気にうどんを作り続けたいという木暮さん。健康と体力維持のため、適度な運動と体重管理を行うなどストイックな姿勢で、挑み続ける。

木暮製麺所
安中市下間仁田873-1
☎027-381-3234（直売は電話で予約を）

その疑問、調べます！
Deli-J
調査団 Vol.8

今月の調査依頼

渋川市北橘町に立つ大きな塔は何ですか？

国道17号線や関越自動車道を走っていると、利根川の向こう側に円筒状の巨大な塔のようなものが見えるのですが、あれは何でしょうか？ どんな目的で作られ、どんな風に利用されているのか、教えてください。

DFさん（高崎市）

渋川のシンボルともいえる存在の正体を究明

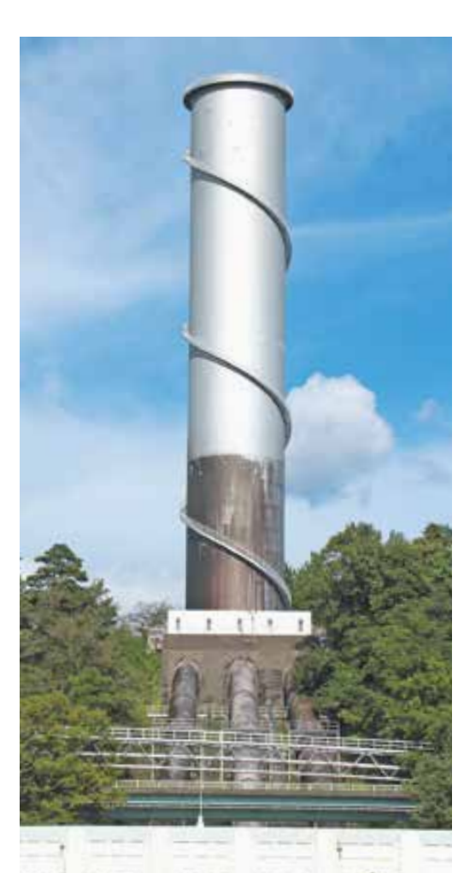
巨大な塔の正体を調べに向かったのは、渋川市北橘町の利根川沿いに立つ佐久発電所。管理している東京電力リニューアブルパワー渋川事業所の大島賢一さんらに話を聞いた。

この塔は水力発電所の設備の一部で「サージタンク」という。発電所の北東に位置する真壁調整池から発電所まで水を流す、水圧鉄管という太い管路の途中に立っており、高さ75.2m、内径12.5m。近くで見上げるとその巨大さに圧倒される。水力発電は高低差を利用して流れ落ちる水の力で水車を回し、発電機を動かす。停電等で発電所が止まると水圧鉄管へ急激に圧力がかかってしまうため、サージタンク内に水を一時的に逃がして圧力を和らげ、破損を防いでいる。

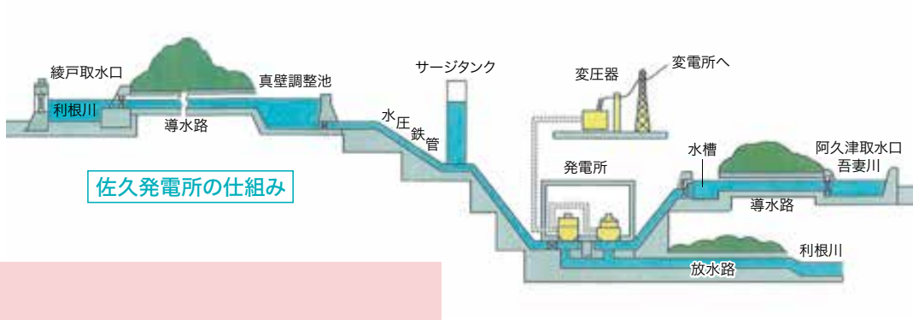
4台の発電機が設置されている発電所内には、水車などが回る大きな音が響きわたる

現在、同発電所では利根川と吾妻川から取水している。沼田市の綾戸ダムから送られる利根川の水は真壁調整池に一旦貯められ、1.3kmもの長さの水圧鉄管を通って、高低差116.68mの発電所に流れ落ちる。水圧鉄管はサージタンクの下で3本に分かれ、3台の発電機に水を送っている。吾妻川から取水する発電機1台と合わせ、計4台による最大出力は78,200キロワット。電気の必要量により遠隔操作で稼働台数を制御し、年間で約6万軒の家庭が1年間に使用する電気量を発電、県内各地へ供給している。

同発電所は95年前の1928年に運用を開始した歴史ある発電所。浅野セメントの創業者、浅野総一郎氏が開設した。「佐久」という名称はこの地域と縁がなさそうに感じるが、浅野氏の妻、作さんの雅号からとったという。初代のサージタンクは当時としては世界一の高さを誇り、現在のタンクは1988年にリニューアルされた2代目。初代と同様、渋川市のランドマークとして、高台から人々の生活を見守り、支えている。



サージタンク外周の階段を頂上まで上るなど定期的に点検を行い、安全を確保している



佐久発電所の仕組み

調査結果

私たちの生活に欠かせない電気を生む水力発電所の設備だった

渋川市のシンボルともいえるサージタンクは水圧鉄管を守るための設備だった。周辺では、真壁調整池から1.3kmもの距離でつながる直径約4.5mの水圧鉄管も見られる。桜の名所としても知られ、春は水圧鉄管と桜の饗宴が美しいので足を運んでみては。

東京電力リニューアブルパワー渋川事業所☎0279-51-5638

疑問や知りたいこと、調べてほしいことなどを募集中です。
質問事項とお名前（ニックネーム可）を添えてお寄せください。
メール：tr@j-tr.jp
FAX：027-212-3412

インフォメーション＆プレゼント　2023.11月号

Present プレゼント

1 イスクラ板藍のど飴 1袋（38g）　10名様

板藍根のエキス末を配合したレモン風味ののど飴。甘酸っぱくてクセはなく、小さい子どもでも食べやすい。のどの調子が悪い時、リフレッシュしたい時に。

群馬中医薬研究会
TEL.03-3281-3363（イスクラ産業 お客様相談室）
http://104449-001.akibare.ne.jp/

2 中村都夢作品集 2024年カレンダー　5名様

自然の中で遊ぶ小人たちの世界をイメージし、メルヘンフォトを作り上げた写真家・中村都夢。開くとA3サイズの壁掛けになる。予定を書き込める余白も用意。

とむワールド
https://tomuworld.com
※問い合わせはメールtomu@tomuworld.comにて

3 醤油ごまふりかけとのり汁　10名様

岡直三郎商店の「日本一しょうゆ」をベースに独自で味付けしたごまふりかけと、金沢の直源味噌を使用したお湯を注ぐだけの手軽なのり汁（4食分）をセットで。

群馬を握る、まぐろ問屋いちもん
伊勢崎市連取町3280-2（伊勢崎店）
TEL.0270-70-4455

4 スタンド付き LEDムーンライト　3名様

手のひらサイズのリアルな月型インテリアライト。優しい月光のように、オレンジ色に灯る。秋の夜長に心安らぐ空間の演出や、寝室などに。ボタン電池式。

美保姿きもの総合学院高崎校
高崎市中居町2-22-5
TEL.027-350-1213

5 トイレマジックリン こすらずスッキリ泡パック　5名様

新配合の吸着持続成分がしっかり密着し続けることで、汚れを取り込みスッキリ落とす。ブラシでこすり洗いしなくても5分後に水で流すだけで、ツヤも持続する。

花王消費者相談室
TEL.0120-165-693

郵便はがきに、住所（郵便番号）・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・ご希望のプレゼント番号とアンケートの回答をご記入の上、下記までお送りください。

〒371-0843 前橋市新前橋町17-17
月刊「デリジェイ」11月号プレゼント係

アンケート
Q1.本誌で良かったページはどこですか？
Q2.本誌でつまらなかったページはどこですか？
Q3.知りたい情報や素朴な疑問など、デリジェイに調べてほしいことを教えてください。

※当選者の発表は、デリジェイまたはメーカーより賞品の発送をもって代えさせていただきます。※ご記入いただいた個人情報は、プレゼント賞品または目録発送のため、もしくは本誌編集の分析資料にのみ利用させていただきます。

ホームページからもご応募できます
▶▶▶ https://deli-j.j-tr.jp

〆切：11月20日（月）当日消印有効

モーニングサービス

今月の表紙

風情ある小さな温泉街の朝は、ゆったりと過ごしたい。築60年の美容室兼住居を改装した植物カフェの2階は、バスの待ち時間や温泉宿をチェックアウトした後に過ごす最適の場所だ。開店の午前10時から11時半までの間、コーヒー、水出しアイスコーヒー、ラテ、ティー、クラシックメロンソーダをオーダーすると、あんことバターをのせた厚切りのハーフトーストが付いてくるモーニングサービスが受けられる。あんこの優しい甘さとバター風味がマッチし、おやつ感覚で食べられるボリュームがちょうどいい。所々に珍奇植物がセンス良く配置された癒やしの空間は、ふっと肩の力が抜けてリラックスできる。日々頑張る自分のために、たまにはそんなごほうびを。

［取材協力］
PLANTS&COFFEE ね
みなかみ町湯宿温泉540
TEL.050-3574-7029
https://ne-yujukuonsen.square.site/

発行人 岡部道雄
監修人 相川清美
営業統括 齋藤紀雄
編集長 久本進
副編集長 山田伊津子
編集委員 上條恵子
広告 荻原裕　林秀樹　石井智也　長田るみ子　今井智規　又吉航平　久保田昌志　井上祐樹　齋田昌紀　小池美波留　岡裕子　富永麻美　都筑千春　小井土達也　小暮未緒　宮原喜美代
協力 上毛新聞アドシステム㈱
写真 ㈱創美社
配布 上毛新聞取扱販売店
印刷 ㈱JOETSU
発行・編集 ㈱上毛新聞TR
〒371-0843
前橋市新前橋町17-17
027-252-4151㈹

Deli-J 2023. 11月号

本誌掲載の記事・写真・地図等のデータについて無断転載・複製を禁じます。
掲載の店舗や施設等の情報は、都合により変更となる場合があります。事前にご確認の上、ご利用ください。
広告掲載のお問い合わせは、月刊デリジェイ 027-280-5015（FAX027-212-3412）まで。